

複写連HP URL
fukusyaren.or.jp/
 401k HP URL
fukusya401k.jp

複写連だより

日本複写産業協同組合連合会
 〒105-0011東京都芝公園1-7-8
 ITビル4階 電話03(5402)6167
 FAX03(5402)1088
 e-mail: info@fukusyaren.or.jp
 URL <http://www.fukusyaren.or.jp/>
 発行責任者 森下修至

総務委員会 会議開催

平成 26 年 7 月 22 日(火)
 午後 1 時 00 分から大阪府
 中央区淀川工技社会議室に
 おいて総務委員会を開催し
 ました。

会長、楠本副会長、佐々
 木事業推進委員長、上田総
 務委員長が出席し、各理事
 から提出された複写連の今
 後の役割と事業の明確化に
 ついて話し合われました。

既に提出された理事から
 の意見の集約は今後の複写
 連の行方を左右するもので
 あり、それを取り纏め、結
 果を検証し、再度理事各位
 にフィードバックし全国の
 同業の方々の為に何が出来
 るか模索していく所存です。

複写DCプラン 「メールマガジン」

複写 DC プラン「メール
 マガジン」

(第 14 号 2014 年 6 月)

複写 DC プラン加入事業
 主の皆様

『複写 DC プラン』に加入
 されている事業主の皆様は、
 月 1 回程度の割合でメール
 マガジンを発行させていた
 だいております。

確定拠出年金は、少子高
 齢化に伴う「公的年金」の
 補完的な役割を担う制度で
 すが、その内容の複雑さ？
 (聞き慣れない用語が多かっ
 たり、従来の概念とは異な

新生 日本複写産業協同組合連合会 東海大会開催準備中！ 2014年11月7日 是非御参加下さい！

る仕組みであったり)から、
 なかなか馴染めない制度と
 言われています。

実施事業主や加入者の皆
 様に、少しでも『複写 DC
 プラン』がご理解いただけ
 るようなメールマガジンに
 したいと思っておりますので、ご
 希望のテーマやご質問等が
 ございましたら、どうぞ
 お寄せください。

複写 DC プラン『コラム』
 ~確定拠出年金の導入時期と加
 入者の満足度について~

「確定拠出年金の導入時
 期によって加入者の満足度
 が異なる」~ NPO401k 教育
 協会の意識調査から一般的
 に運用環境が上昇に向かう
 タイミングで DC を導入し
 た企業の従業員満足度は高
 めめで、リーマンショック直
 前に DC を導入した企業の
 従業員満足度は現状では低
 い傾向にあるという結果が
 見られます。

この傾向はすべての企業
 や加入者に該当するわけ
 ではないため、満足度の低さ
 は投資や運用について悪い
 イメージが先に立ち、DC に
 マイナス反応していること
 が要因の 1 つと思われます。
 確かに投資や運用において
 タイミング(時期)は大切
 ですが、時期を的確に把握

することは困難ですし、人
 それぞれ的確さの度合いも
 異なります。ただ悪いイメ
 ージを持ち続けるのではなく、
 自分に合ったタイミングを
 考える、長期運用の効果や
 経済の流れを知るという意
 識改革が必要だと考えます。

現在、日本経済は上昇傾
 向にあると言われており、
 景気循環研究所の嶋中氏の
 報告では、4 つの景気波動:
 キッチン(40 か月)、ジュグラー
 (10 年)、クズネッツ(20 年)、
 コンドラチェフ(50 年)がす
 べて上向きになる「ゴール
 デンサイクル」の時期が始
 まると言われています。

過去には神武景気・岩戸
 景気がこのサイクルで、20
 20 年の東京オリンピック開
 催も考慮すると、近未来的
 に日本経済は上向きである
 うという前向きなベクトル
 です。

また、2014 年 5 月 22 日
 の日本経済新聞社夕刊でも、
 NTT 等の大手企業が従業員
 から「ある程度利回りが期
 待できるファンドを入れて
 ほしい」と要望され、運用
 商品の 3 割程度をリスク商
 品にしたとの記事が掲載さ
 れました。

個人の金融商品に関する
 嗜好が変化してきたと言
 い切るにはまだ時間がかか
 ると思いますが、NISA やマツ

チング拠出など、個人が運
 用を考え意識改革を図るタ
 イミング(時期)が到来し
 ているのかも知れません。

複写 DC プラン『確定拠出
 年金クイズ』(その 11)

毎回「確定拠出年金」の詳
 細をクイズ式でお知らせし
 ていきたいと思えます。
 少し難しい問題も出てくる
 かもしれませんがチャレン
 ジしてみてください!
 今回は「その 11: 制度編」
 = 「難易度 B」(A ~ C: C
 が難しい)です。

確定拠出年金の運用と給付
 に関する以下記載のうち、
 最も不適切なものは?

(1) 確定拠出年金の運用
 は、加入者が自分自身で選
 択し、Web・コールセンター
 等で行う。
 (2) 加入者は、投資信託
 などのリスク商品を選択
 (購入)することはできな
 い。

(3) 60 歳以降に受け取る
 老齢給付金を一時金(一括)
 で受け取る場合にはその一
 時金は退職所得となる。

(4) 障害給付金には、所
 得税が課税されない。

答えは(2)

<解説>
 確定拠出年金では、投資信
 託など元本が確保されてい
 ない商品も運用商品として
 認められており、加入者は
 自己責任でリスク商品を選
 択(購入)することができます。
 なお、運用における
 リスクとは、「基準値から
 どれだけ乖離するか」を示
 すもので、基準値よりも増
 える(プラス)リスクと基

準値よりも減る（マイナス）リスクがあります。

（3）の老齢給付金を一時金（一括）で受け取る場合は退職所得、年金（分割）形式で受け取る場合は雑所得となります。なお、いずれの場合も所得控除（退職所得控除・公的年金等控除）の対象になります。

複写DCプランのホームページもご確認ください!!!
http://fukusya401k.jp/

～新着情報が適宜掲載されています。

～退職者（予定者）の方もご覧いただくよう、事業主様からお知らせください。

このメールは、日本複写産業協同組合連合会が発行するメールマガジンです。

このメールマガジンの著作権は日本複写産業協同組合連合会に属し、当団体の許可なく複製再配信等を行うことはできません。

このメールマガジンは、日本複写産業協同組合連合会のDCプランを導入されている事業主で、メールアドレスをご登録いただいた皆様にお送りしております。メールマガジンが不要な場合は下記アドレスまでご連絡ください。

info@fukusya401k.jp

メーカー最新情報

賛助会員各社の最新情報
をお知らせします

Marketing Print Managementサービスの競争力強化とグローバル展開に向けた体制構築

オーストラリア Ergo Asia Pty Limitedの買収について

2014年6月23日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下コニカミノルタ）は、オーストラリアのプリントマネジメントサービス大手Ergo Asia Pty Limited（本社：オーストラリア シドニー、以下Ergo社）との間で、コニカミノルタによるErgo社の買収について合意しましたのでお知らせいたします。背景

コニカミノルタは中期経営計画『TRANSFORM 2016』において、その重点施策の一つとしてプロダクションプリント（PP）分野における事業拡大を掲げています。PP分野、特に出力ボリュームの多い領域では、印刷業者様へは、様々な用紙へ安定した高画質出力ができるデジタル印刷システムを活用したソリューション提案が求められます。また発注する側である一般企業様からは、販売促進などマーケティング分野における多種多様な印刷制作物に対して、付加価値を高めるための施策とサービスの提供を求められています。

目的と効果

Ergo社は、印刷業者様および一般企業様双方に向け、印刷業務プロセスを改善し、販促活動など活用目的に合った付加価値の高い印刷物の企画・制作などを支援する「Marketing Print Management（マーケティング・プリント・マネジメント 以下MPM）」サービス事業を得意としています。このMPMサービス事業を、オーストラリアを中心にオセアニア・アジア地域の計9カ国で展開しています。

このたびの買収は、Ergo社の持つ独自のサービス運営ノウハウとネットワーク、

さらに効率的な運営につながる独自のアプリケーションシステムの獲得を目的としています。またErgo社の協業先である商業印刷企業に対して、コニカミノルタのPP分野向けデジタル印刷システムの提供機会が生まれることも想定しております。

この買収により、コニカミノルタはオセアニア・アジア地域の一般企業様から要望される、高付加価値と最適な品質に加え、コストパフォーマンスの高い印刷物の制作において、これまで以上に多様な選択肢と解決策をご提供できるようになります。また2012年11月に買収した英国Charterhouse社と合わせ、同地域でも事業展開されているグローバル企業様に向けて、MPMサービスをご提供する体制を構築することができます。買収方法

コニカミノルタはErgo社の全株式を買い取ります。両社は本件に関する売買契約を2014年6月11日に締結いたしました。

ERGO社概要

社名：Ergo Asia Pty Limited、設立：2004年、本社所在地：オーストラリア シドニー、従業員数：176名（2013年8月20日現在）
拠点（展開地域）：オーストラリア、ニュージーランド、中国、インドネシア、インド、タイ、フィリピン、ベトナム、シンガポール、米国

事業内容

プリントマネジメントサービスの提供

コニカミノルタは、今後もお客様への約束「Giving Shape to Ideas」のもと、お客様ニーズに合致した付加価値の高いソリューションとサービスの提供を通じ

て、PP分野でのプレゼンスをさらに高めるとともに、グループ全体の企業価値を一層高めてまいります。

「imageRUNNER ADVANCE」シリーズに新ラインアップを追加

A4カラー複合機「imageRUNNER ADVANCE C350F」を発売

2014年7月14日

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティング
ジャパン株式会社

キヤノンは、オフィス向け複合機「imageRUNNER ADVANCE」シリーズのA4カラー複合機「imageRUNNER ADVANCE C350F」を9月上旬より発売します。

発売情報：imageRUNNER ADVANCE C350F、価格：62万5,000円（税別）、発売日：2014年9月上旬

おもな特長

新製品は、デスク横にも設置可能な省スペース設計ながら、A3複合機「imageRUNNER ADVANCE」シリーズと同様のシステム仕様を備え、業務の効率化やトータルコストの削減に貢献します。また、新しい色設計の採用により、プリンターの色域が拡大し、色鮮やかな画質を提供します。

高性能なシステム仕様を装備

キヤノン独自のアプリケーションプラットフォームである「MEAP（Multifunctional Embedded Application Platform）」を搭載し、機能拡張やICカード認証が可能です。また、A3複合機と組み合わせて設置することでユーザーのオフィス環境に合わせた最適な配置が



imageRUNNER ADVANCE C350F

可能となります。さらに、小規模オフィスや店舗のバックヤードでは、キヤノンのクラウドサービスである「HOME」などと連携し、ファクス業務の効率化や電子化した紙文書の情報共有を促進します。

新しい色設計の採用により高画質を実現

新しい色設計の採用により、プリンターの色域を拡大しシャープネスコントロールを最大限に活用することで、色鮮やかでくっきりした画質を実現しています。チラシなど、さまざまなドキュメントの表現力を高めま

ユーザビリティを向上させるさまざまな機能

視認性の高い7インチ液晶カラータッチパネルを搭載し、よく利用する設定を個人ごとに事前登録可能な「カスタムメニュー」など、従来の「imageRUNNER ADVANCE」シリーズ機と共通の操作性を実現しています。さらに、操作パネルは角度調整が可能な無段階チルト機構を採用することで、デスク横でも使いやすくユーザーの操作性を向上させています。

A4カラー複合機の市場動向

2013年のA4カラー複合機の市場規模は、世界市場で約15万台、国内市場で約8千台、2014年においては、世界市場で約17万台、国内市場では約1万台と予想しています。(キヤノン調べ)

国内では各社がA4カラー複合機を投入しており、省設置スペースや高生産性を打ち出し、小規模オフィスを中心に台数が伸びている成長市場となりつつあります。

一方、欧米などの先進国市場ではMPS(Managed Print Services)ビジネスが進化し、オフィス内の機器の最適配置にとどまらず、A4複合機がA3複合機と同等のシステム仕様を持ち、ユーザーの業務改善や機器の統合管理の実現など、より高い付加価値を提供することでA4カラー複合機市場の成長に大きく寄与しています。

韓国ITサービス企業の買収について

～韓国市場におけるサービス事業を強化～

2014年7月16日
株式会社リコー

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司、以下リコー)は、当社の韓国における販売会社であるRicoh Korea Co., Ltd.(以下、

リコー코리아)を通じて、FutureTech Ltd.(以下、フューチャーテック社)およびFutureWare Ltd.(以下、フューチャーウェア社)の全株式を取得する件について、このほど合意したことを発表いたします。

フューチャーテック社およびフューチャーウェア社は、韓国市場にてIT機器の販売、ソリューション提供、保守サービスにおいて付加価値の高いビジネスを展開しています。韓国国内で本社および6拠点でオンサイトサービスを提供しており、金融・保険関連など多くの大手企業に顧客基盤を有しています。

リコーは、韓国を重点戦略地域のひとつとして位置づけており、2013年4月に100%出資の販売会社としてリコー코리아(本社:ソウル)を設立しました。同年にはプロダクションプリンティング製品の販売・サービスを開始し、2013年秋からは一般オフィス向けの複合機、プリンターの販売、サービス、オフィスソリューションを提供しています。

本件買収は、リコーの戦略成長分野であるサービス事業における基盤強化の一環です。今後は韓国において、より幅広い層のお客様へのマネージド・ドキュメント・サービスやITサービスなどの付加価値提供が可能となります。

フューチャーテック社、フューチャーウェア社の概要

社名:FutureTech Ltd.(フューチャーテック社)、FutureWare Ltd.(フューチャーウェア社)、設立:フューチャーテック(1997年)、フューチャーウェア(2001年)、フューチャーウェアは、フューチャーテック社から販売・構築事

業を継承し、兄弟会社として設立

本社所在地:ソウル、支店:6拠点(カンウォン、テグ、プサン、テジョン、ワanjung、チェジュ)、事業内容:PC、プリンター、サーバーの販売設置およびサービス保守、ネットワーク、クライアントサーバー環境の設計・構築およびメンテナンス、仮想化ソフトウェアなどのソリューションの販売・構築、従業員数:約160名

リコー、銀座4丁目交差点の広告塔を100%自然エネルギー化

世界4極で自然エネルギー広告塔を設置

2014年7月10日
株式会社リコー

株式会社リコー(社長執行役員:三浦善司)は、東京銀座4丁目交差点の三愛ドリームセンタービル屋上に設置している広告塔の電源を、太陽光および風力による自家発電に切り替え、100%自然エネルギーで点灯する広告塔に変更いたします。完成は、2014年8月末の予定です。

リコーは、これまでニューヨーク(*1)、ロンドン(*2)、シドニー(*3)に100%自然エネルギー広告塔を設置してまいりました。今回の銀座広告塔の自然エネルギー化により、米州、欧州、アジア・パシフィックに日本を加えて、リコーグループが事業を展開している世界4極で自然エネルギー広告塔を設置することになります。(日本国内では、銀座4丁目交差点に先んじて2003年4月に大阪市北区に自然エネルギー広告塔を設置しましたが、広告塔前にビルが

自然エネルギー
広告塔
完成予想図



のもと、全員参加で環境負荷削減活動に取り組んでいます。広告塔以外にも、自然エネルギーの活用に積極的に取り組み、2002年からグリーン電力証書の購入を開始、2006年に沼津事業所、2011年2月にはアメリカの生産関連会社で自然エネルギーによる発電システムを導入しています。
(*1)ニューヨーク・タイムズスクエア広告塔(2009年4月から試験点灯、2010年6月完成)
(*2)ロンドン広告塔(2011年6月完成)
(*3)シドニー広告塔(2011年7月完成)

建ったため、2011年6月に撤去しました)

自然エネルギー広告塔は、外部からの供給電力を使用しないため、天候次第では点灯しない可能性もあります。「企業名の訴求のみならず、広告塔の存在そのものが発信するメッセージから、多くの方が環境を意識することで、持続可能な社会実現に向かう大きな流れにつなげたい」という企業姿勢を伝えるべく、自然エネルギーにこだわって進めているプロジェクトの一環です。日本の商業中心地・銀座のランドマーク的存在である三愛ドリームセンタービルの広告塔を自然エネルギー化することにより、日本、ひいては世界でも多くの方に省エネについて関心を持っていただきたいと考えます。

今回の自然エネルギー化においては、ソーラーパネル78枚、小型風車4本で発電した電力をバッテリー48台に蓄電し、点灯いたします。計算上の平均発電量は約39,000wh/日(リコー調べ)です。

リコーグループは、2050年までに環境負荷を8分の1に低減するという高い目標

ムズスクエア広告塔(2009年4月から試験点灯、2010年6月完成)
(*2)ロンドン広告塔(2011年6月完成)
(*3)シドニー広告塔(2011年7月完成)
<リコー銀座4丁目交差点広告塔の主な仕様>

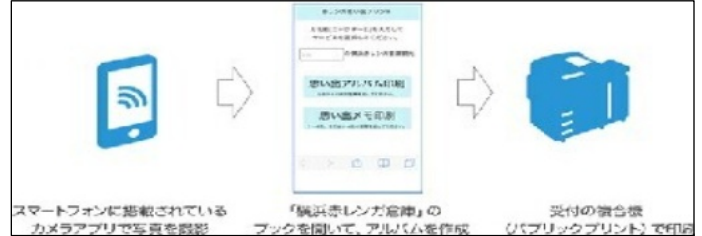
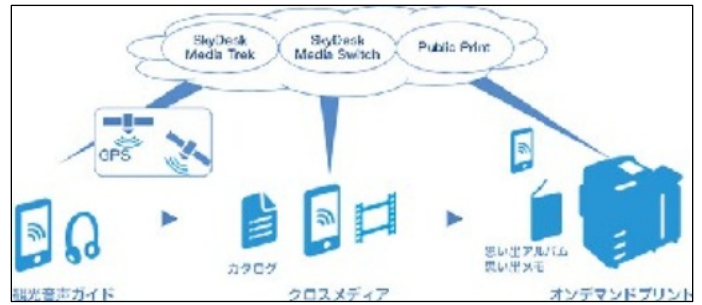
- 1.設置場所
東京都中央区銀座5-7-2
三愛ドリームセンタービル屋上
- 2.広告塔の大きさ
天地14,540×左右26,550(m²)
- 3.自家発電システムのスペック、太陽光パネル78枚
小型風車4台蓄電池48基
平均発電量約39,000wh/日(リコー調べ)
- 4.完成時期
2014年8月末予定

横浜赤レンガ倉庫で、**観光音声ガイドとプリントサービスを組み合わせたい**の思い出作りサービスの**実証実験を開始**

施設の音声ガイドと名前入りオリジナルアルバム作成のプリントサービスを無料で提供

2014年7月16日
公益財団法人横浜市芸術文化振興財団(所在地：神奈川県横浜市、理事長：澄

システムの概要図



川喜一)と富士ゼロックス株式会社(本社：東京都港区、社長：山本忠人)は、スマートフォン用音声ガイドアプリ「SkyDesk Media Trek(スカイデスクメディアトレック)」、および外出先での印刷を支援するサービス「パブリックプリント」を組み合わせたいサービスを新たに開発し、同財団が運営する横浜赤レンガ倉庫にて、7月18日より9月30日まで、実証実験を行います。

期間中に来訪されたお客様は、自分のスマートフォンに音声ガイドアプリと音

声ガイドコンテンツをダウンロードすると、歩いている場所に応じて横浜赤レンガ倉庫の歴史などの説明を自動的に音声で聞くことができます。また、同アプリと連携したサービスを使い、スマートフォンで撮影した写真でオリジナルの名前入りアルバムが作成でき、赤レンガ倉庫内に設置されている複合機で出力し、その場で受け取ることができます。

これらのサービスは、期間中はすべて無料でご利用いただけます。

当社では、今回の実証実

験により、音声による施設ガイドと手元に残る写真アルバムが、来訪の記憶をより深くし満足度の向上につながるかを把握しながら、観光施設、商業施設における具体的なサービス提供を目指します。

音声ガイドサービス利用の手順

・アプリ内のブックストアから「横浜赤レンガ倉庫」というブックをダウンロードブックを開いて「ガイド開始」を選択スマートフォン用アプリ「SkyDesk Media Trek」をダウンロード

・パブリックプリントの利用手順

受付の複合機（パブリックプリント）で印刷「横浜赤レンガ倉庫」のブックを開いて、アルバムを作成スマートフォンに搭載されているカメラアプリで写真を撮影

・アルバムサンプル

開催概要

期間：平成26年7月18日(金)～9月30日(火)、時間：午前10時から午後7時(出力サービスおよび特典クーポンの引換時間)、場所：観光音声ガイド：横浜赤レンガ倉庫および赤レンガパーク周辺、2.出力サービス：横浜赤レンガ倉庫1号館1階受付、料金：期間中は無料(実証実験として)

横浜赤レンガ倉庫

1号館は1913年、2号館は1911年に創建され、ともに100年の歴史を持つ横浜を代表する歴史的建造物であり、毎年600万人を超える来館者を迎える人気スポットです。1号館はホールやギャラリーを備えた文化施設、2号館はショップやレストランが揃った商業施設

です。創建当初は横浜税関の保税倉庫で、国の模範施設として当時最新鋭の技術を使って建設されました。横浜港の物流の中心として活躍するとともに、関東大震災被災、戦後のGHQ接収、港湾倉庫としての用途廃止など様々な出来事を経験します。その後、横浜市が国から取得し、横浜港のシンボルとして継承していくために保存・改修工事を行い、2002年に現在の横浜赤レンガ倉庫～「港の賑わいと文化を創造する空間」として再生しました。

創建当時の部材などは現在も施設内に保存展示され、各所で目にすることができます。

リコージャパン(株)全国セミナー8月のお知らせ

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

8月7日(木) 13:30~15:30

印刷の進化によるビジネス・売上拡大アプローチ事例のご紹介

2014 8/7(Thu) 13:30~15:30 定員20名 SEMINAR GUIDANCE

講師：宮本 泰夫 氏

Application form 申込申込書

Map & Contact ご案内

申込期間：7月18日(金)～9月30日(火) 10時～17時

申込方法：インターネットまたはFAXにて

申込先：リコージャパン株式会社 九州営業本部 企画課 092-791-4104

申込先：リコージャパン株式会社 九州営業本部 企画課 092-791-4104

申込先：リコージャパン株式会社 九州営業本部 企画課 092-791-4104

FAX 092-791-4105

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

POD実感 / セミナー in 東京

Realize! 8

POD realize seminar

2014年度 月次案内

8/22(水) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

8/27(日) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

8/27(日) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

8/27(日) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

POD実感 / セミナー in 東京

Realize! 8

POD realize seminar

2014年度 月次案内

8/22(水) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

8/27(日) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

8/27(日) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

8/27(日) 紙媒体を正しく活用することで「もったいない」を解消しよう

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

POD Seminar Business Seminar

PODセミナー in 仙台

vol.2 2014 August

2014/8/6(水) 13:30~15:00

紙媒体の底力を見直すことで売上は向上する

講師：河野 弘明 氏

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

POD Seminar Business Seminar

PODセミナー in 仙台

vol.2 2014 August

2014/8/6(水) 13:30~15:00

紙媒体の底力を見直すことで売上は向上する

講師：河野 弘明 氏

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

POD Seminar Business Seminar

PODセミナー in 仙台

vol.2 2014 August

2014/8/6(水) 13:30~15:00

紙媒体の底力を見直すことで売上は向上する

講師：河野 弘明 氏

二束撮り申込書 FAX:022-726-3361

8月6日(水) 13:30~15:00 紙媒体の底力を見直すことで売上は向上する

申込先：リコージャパン株式会社 092-791-4104

申込先：リコージャパン株式会社 092-791-4104

申込先：リコージャパン株式会社 092-791-4104

リコージャパン株式会社 RICOH imagine. change.

RICOH Printing Solution Seminar in Fukuoka

8月20日(水) 13:30~16:45

イラスト編集 / ロコ作成

講師：百合 智夫 氏

Application form 申込申込書

Map & Contact ご案内

申込期間：7月18日(金)～9月30日(火) 10時～17時

申込方法：インターネットまたはFAXにて

申込先：リコージャパン株式会社 九州営業本部 企画課 092-791-4104

申込先：リコージャパン株式会社 九州営業本部 企画課 092-791-4104

申込先：リコージャパン株式会社 九州営業本部 企画課 092-791-4104

FAX 092-791-4105

リコーシステム株式会社 RICOH Imaging Change

SEMINAR OVERVIEW
2014.4-2014.9

「複写連」のセミナーは、全国で展開されています。今回は、全国のNTT広告データを拾い出して名簿を作成、北海道から沖縄までの全国同業あるいはPODserviceを行っていると思われる会社様に書類をお送りしています。

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

会長の独り言

日本複写産業協同組合連合会では、複写連パートナーズの募集を行っています。現在、全国のNTT広告データを拾い出して名簿を作成、北海道から沖縄までの全国同業あるいはPODserviceを行っていると思われる会社様に書類をお送りしています。

現在の進捗状況は500社程度に送付したところです。

既に東北地方全域、東京都内、甲信越に所在する会社へ送付しました。

来週には九州全域、関東地域を予定し、その後近畿地域、北陸、中四国と順次お送りします。北海道は概ね業界が組織化されており、その数1500社に及びそうです。

最初にお送りした中で、旧名簿から抜粋した会社もあり、100社余りの返送がありました。いかにこの業界が厳しい環境にあるか察できます。

今回の試みは以前にもお伝えしたように、過去複写連が一切実施してこなかった個別の勧誘施策ですが、資料配布後も電話等による追加勧誘が必要と考えています。

今回の勧誘と同時に思うことがあります。地域による誤差もあるでしょうが、この業界は大きく二つに分かれていく気がします。

従来からの「固定客ぶら下がり複写重視型」、「新規顧客浸透POD推進型」というように区別できます。

従来型の企業では社員の人員構成・設備の充実など顧客が求めるニーズに対応できず、複写や出力、後加

工のみの業務に特化し、提案型の営業スキルを持たないまま今後の景気回復を待つタイプです。

一方、後者は社内のインフラ整備はもとより、社内のスキルアップに努め、顧客層もゼネコンやコンサルタント系からの離脱を進め、様々な業種に提案できる営業力・想像力を備えようと努力している会社です。

古いタイプの経営者は、過去30年～40年の間に従来型の仕事で大きな利益を得て、儲からない時代に入ると、儲からない時代に突入するや早々と経営者の自己財産を築き上げたところで完結というパターンが増えているような気がします。新たな設備投資や人的育成には興味がなく、出来ればいち早く店じまいしたいと願うスタンスのように思います。東京地方では少なくともそのような方々を多く知っています。

他の地域ではわかりませんが、これから先、複写業からの脱皮を図り、業務を続けなければならない若年の2代目、3代目経営者にはうらやましい限りです。

従来型の業態のままでは、よほど信頼できる顧客に恵まれない限り、頑張ってもこの先数年間で頑張りきれない状況が生まれてくる事が予測されます。

価格値下げ傾向と社員の老齢化はこの業界にとって避けられない状況であり、またその人材は過去の貢献度は有っても、業界に望まれる新しい業務に対する習熟度には頼り

ないものが在り、経験だけでは事業継続には事足りません。

今新しい経営者はその大きな壁にぶつかりながら工夫し、新業態への移行を目指しています。

同業は勿論、異業種の知恵や取り囲むメーカー各社の考え方などを吸収する事、またビジネスへり真摯な取り組み、言うならば「商売の原点」に戻り人間関係の差構築を進め、顧客からの信頼の獲得と浸透についてもう一度考え直す時期にあると考えています。

所属員の動向

(異動は複写連事務局まで)

複写連行事予定

- 平成26年7月22日(火) 複写連総務委員会、大阪
- 平成26年10月16日(木) 複写連九州エリア理事長会議、於福岡市
- 平成26年10月17日(金) 複写401Kボード会議、於熊本市

PODガイドブック 好評販売中

スリット オンデマンド ガイドブック

Print On Demand Guide Book

日本複写産業協同組合連合会

- Part 1 PODとさまざまな印刷技術
- Part 2 PODのシステム
- Part 3 POD印刷物の企画と制作
- Part 4 POD印刷物の入札と採り直し
- Part 5 ネット印刷の活用
- Part 6 新しいサービス形態と最新技術動向

WORKS

6.17 大 6.21 水 4.22 水

「複写連」のセミナーは、全国で展開されています。今回は、全国のNTT広告データを拾い出して名簿を作成、北海道から沖縄までの全国同業あるいはPODserviceを行っていると思われる会社様に書類をお送りしています。

9.17 水 8.26 水 7.15 水

「複写連」のセミナーは、全国で展開されています。今回は、全国のNTT広告データを拾い出して名簿を作成、北海道から沖縄までの全国同業あるいはPODserviceを行っていると思われる会社様に書類をお送りしています。

Application form

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

FAX 052-527-6837